

## <発達支援講演会を開催しました>

8月19日保健福祉センターにおいて、札幌の「社会福祉法人麦の子会」の地域支援部長である金澤俊文先生を招き、『ライフステージを見通した子どもへの支援～事例から考える心の成長へのアプローチ～』と題して講演会が開催されました。講演の内容を一部お知らせします。

- 発達の源・・・親を信頼し、安心しながら育つこと。
  - ・親を信頼する子は、大人を信頼し、今度は仲間を信頼する。
  
- 発達の気になる子への接し方
  - ・彼らは「困った子」ではなく「困っている子」と理解する。  
「困っている子」＝支援が必要な子  
→できないことを叱るのではなく、できそうなことを見つけ、取り組んだことを誉める。
  - ・通常とは違う感じ方や考え方を持つ子として理解する。  
人と違うことを頭ごなしに否定されると自信をなくす。  
根性や努力で治せないものとして理解する。
  - ・本人のニーズに合わせて手立てを考える。  
心の育ち（安心感、信頼感、自己肯定感）を大切に作る。
  
- 家庭療育のポイント
  - ☆生活リズムを整え、元気で健康な身体作りを行う。
  - ★認めて！褒めて！心をかけて！手出しは少なめにする。
  - ☆子どもの特徴を把握し、生き辛さに寄り添う。
  - ★叱る基準は、本人や相手に危険ではないか、周囲の人に不快感を抱かせないか。
  
- 障害を持つ人も持たない人も共に生活できる地域社会
  - ・障害のある子どもと家族の困り感を理解し、「ありのままの姿で生きていく」ことを受け止めることが大切。

